

*本リリースは9月30日に米国で発表されたリリースの抄訳です。

2013年10月1日

デルタ航空、1万1,000人のパイロット全員にマイクロソフトのタブレット端末を支給

マイクロソフト製タブレット Surface2 の採用により、業務の効率化と二酸化炭素排出量の抑制、年間1,300万ドル(約12億8,000万円)の燃料及び関連コスト削減を目指す

【アトランタおよびワシントン州レドモンド、2013年9月30日】— デルタ航空 (NYSE:DAL) は、1万1,000人の運航乗務員(パイロット)全員に、マイクロソフトのタブレット端末「Surface2(サーフィス2)」を配布します。タブレット端末はまず、航路図や航空機の運航マニュアルなどの書類が入った重いフライト・キットに代わる「エレクトロニック・フライト・バッグ(EFB)」として使用されます。今年中にボーイング757型機および767型機のパイロットに支給され、2014年末までには全機種のcockpitがペーパーレス化される予定です。

Surface2はオペレーティングシステム(OS)にWindows RT8.1を搭載し、パイロットが航路や参考資料、各種チェックリストなど、運航に必要なツールや最新情報に簡単にアクセスできるよう設計されています。タブレット端末導入による重量削減等により、年間1,300万ドル(約12億8,000万円)の燃料及び関連コストが削減されます。

デルタ航空フライトオペレーション担当上級副社長、スティーブ・ディクソン機長(Capt. Steve Dickson)は次のように述べています。「デルタ航空は、乗務員が安全で効率良く航空機を運航できるよう最高水準のテクノロジー・ツールを提供してきましたが、今回のSurface2に搭載されるエレクトロニック・フライト・バッグ(EFB)もこの取り組みの一環です。直感的な操作が可能な端末を支給することにより、パイロットは必要な情報にすぐにアクセスできます。ペーパーレス化により、紙の散乱を防ぎ、飛行情報を探す時間が短縮されるため、パイロットが地上および上空において、より多くの時間を運航状況認識に費やすことができます。」

情報へのリアルタイムアクセスを支援するエレクトロニック・フライト・バッグ(EFB)

デルタ航空のエレクトロニック・フライト・バッグ(EFB)は、Windowsプラットフォーム専用開発されたJeppesen社が提供する業界最高水準のアプリケーション、「FliteDeck Pro」を採用しています。この双方向性の高いソフトウェアにより、航路やナビゲーション・ユーティリティなど、安全運航に役立つリアルタイムの情報に、迅速かつ効率よくアクセスすることができます。

オペレーティングシステムWindows RT8.1をにより、タブレット上に二つのアプリケーション画面を同時に表示させることができます。これにより、一つの画面に気象情報、もう一つの画面に予定航路を表示させるなどの使い方ができます。アプリケーションが起動していない時でも、スタート画面で最新情報を表示することができるWindows 8.1の「ライブタイル」機能により、パイロットは必要な情報に瞬時にアクセスすることができます。Surface2の高解像度(1080p)タッチスクリーンにより、地図などの情報をより詳細まで確認することができます。

デルタ航空は、ボーイング757型機および767型機材において十分なテストを重ねた上で、来年には米国連邦航空局(FAA)から、運航中の全ての過程でタブレット端末を使用できる許可を取得する見込みです。その他の機種での使用に関する許可は、2014年中の取得を見込んでいます。

効率化を進め、環境に配慮

Surface2タブレット端末を全ての保有機材で使用することにより、cockpitがペーパーレス化されると、パイロット一人につき既存のフライト・バッグの重さ38ポンド(約17キログラム)を減らすことができます。この大幅な重量削減により、年間で推定120万ガロンの燃料、二酸化炭素排出量にして2,600万ポンドを削減することができます。これは乗用車2,300台が1年に排出する二酸化炭素排出量をゼロにするのと同じ効果があります。また、約900本の樹木に相当する年間750万枚の紙の使用を控えることができます。

また、今後数年間でエレクトロニック・フライト・バッグ(EFB)の機能を拡張し、運航管理情報の電子化や気象予報データへのリアルタイム・アクセス、地上にいる整備担当者との直接連絡などを可能にし、運航効率を高める計画です。

cockpitのペーパーレス化は、先日発表した客室乗務員向け携帯端末 Windows Phone 8 の 1 万 9000 台導入に続くデジタル端末の導入になります。デルタ航空の客室乗務員は今年 8 月に Windows Phone 8 を搭載したノキアの Lumia 820 の使用を開始し、フライト情報へのアクセスのほか、機内販売の決済などに活用しています。

デルタ航空について

デルタ航空は年間 1 億 6,000 万人以上の搭乗者数と広範なネットワークを持つ航空会社です。デルタ航空はフォーチュン誌の「2013 年世界で最も賞賛される企業リスト」の航空業界部門(2013 World's Most Admired Companies Airline Industry List)において、1 位を獲得しました。デルタ航空がこの賞を受賞するのは、この 3 年で 2 度目です。デルタ航空およびデルタ・コネクションは、世界 57 カ国、317 都市に向けてフライトを運航しています。米国ジョージア州アトランタに本社を置き、世界で約 8 万人の従業員を擁し、700 機以上の主要機材を運航しています。また、航空連合(アライアンス)「スカイチーム」の創立メンバーとして、大西洋路線においてエールフランス-KLM、アリタリア-イタリア航空とともに、共同事業を展開しています。アトランタ、シンシナティ、デトロイト、ミネアポリス/セントポール、ニューヨーク(ラガーディアおよび JFK)、ソルトレイクシティ、パリ(シャルルドゴール)、アムステルダム、東京(成田)をハブ空港とし、提携航空会社と合わせて一日に 1 万 5,000 便以上のフライトを運航しています。現在、総額 30 億ドルを投じて空港施設やプロダクト、空港および機内での顧客サービス向上とテクノロジー導入を進めています。詳しくはホームページ delta.com をご覧ください。

<報道関係者お問い合わせ先>

デルタ航空太平洋地区広報部
e-mail: corpcommjapan@delta.com
日本語ニュースルーム <http://delta.jp.mediaroom.com/>

